



長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

成年男子準々決勝

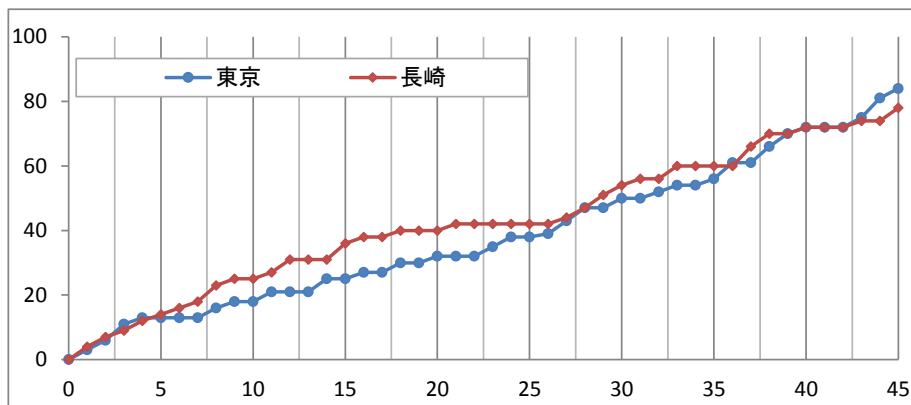
東京 84 ○ 78 ● 長崎

主審 松本 究 (佐賀)

副審 大山 直輝 (山口)

18 - 25
14 - 15
18 - 14
22 - 18
12 - 6

No. 19G-1 日時: 2014年10月19日(日) 10:00 会場: 三菱重工総合体育館



東京

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 山田 純也	9	0	3	3	0	0	0
5	福田 侑介	4	0	2	0	1	0	2
6	* 鈴木 伸之 (C)	9	3	0	0	2	1	2
7	岩下 達郎	6	0	3	0	5	10	0
8	福田 大佑	19	2	2	9	3	10	0
9	* 小林 純也	13	2	2	3	1	0	3
10	* 小松 昌弘	9	1	2	2	1	4	1
11	森川 純平	2	0	1	0	4	2	0
12	立花 大介	6	2	0	0	2	1	2
13	高田 歳也	5	1	1	0	2	0	0
14	* 吉留 将平	2	0	1	0	1	1	1
15	加藤 耕太郎	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	奥山 興祐					0		
合計		84	11	17	17	22	29	11

長崎

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 根岸 豪 (C)	11	0	4	3	5	7	2
5	中嶋 将貴	0	0	0	0	0	0	0
6	* 近藤 紘光	10	2	2	0	2	1	3
7	* 酒井 祐典	13	0	6	1	5	11	5
8	山田 悠太	11	3	1	0	2	2	0
9	* 庄司 亮介	14	1	2	7	4	6	4
10	* 吉田 雄治	3	1	0	0	3	6	0
11	今宮 翔太	0	0	0	0	1	1	0
12	陣内 純大	-	-	-	-	-	-	-
13	山田 航	0	0	0	0	0	0	0
14	藤田 俊祐	10	0	4	2	5	2	0
15	岡 隆輔	6	1	1	1	2	1	1
コーチ	岩本 清					0		
合計		78	8	20	14	29	37	15

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

昨年度優勝東京と開催県長崎の対戦。最初に主導権を握ったのは長崎。#7の1対1と#6のインターセプトからの速攻で勢いをつける。しかし、東京は#6、#9のスリーポイントで応戦。第1Qは、18対25長崎リードで終了。第2Q開始も長崎#7の活躍により長崎が10点差をつける。東京もじわじわと追い上げを見せるが、長崎は#6のスリーポイント、#14の1対1からの得点で寄せ付けぬ。32対40で第2Q終了。

第3Q、徐々に東京が試合のペースを掴む。#4の1対1で残り4分、ついに東京が43対42と逆転に成功する。しかし、粘る長崎は#6のスリーポイントと#4の連続得点で50対54と再逆転をし第3Qを終了。第4Q開始、一進一退の攻防が続く。しかし終盤ペースを掴んだのは東京。#9の外角シュートが決まり、1点差に詰め寄る。対する長崎はタイムアウト直後、セットプレーから#8のスリーポイントで66対70とする。東京も#7のゴール下のポストプレーを中心に得点を重ねる。お互い1歩も引かない展開で72対72となったところで延長戦へ突入。

延長戦も両者譲らず。しかし、東京はフリースローによる得点や#14のゴール下からの得点で81対74と突き放す。長崎は#4、#14を退場で欠き、苦しい展開。#15のスリーポイントで4点差まで詰め寄るも最後は東京が落ちてフリースローを沈め、84対78で東京が息づまる接戦を制した。

前回優勝の東京をあっと一歩のところまで追いつめた長崎。最後は惜しくも力尽きたが、健闘した地元選手の奮闘には会場から惜しめない拍手が送られた。

記事者 高田裕己 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

成年男子準々決勝

京都 69 68 北海道

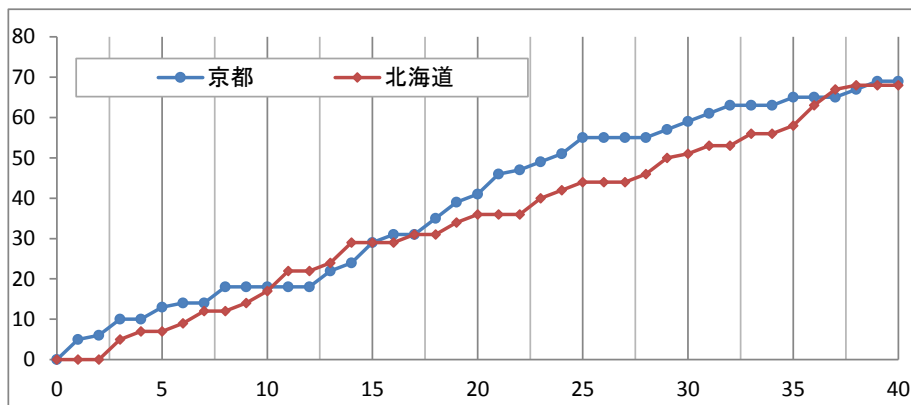
主審 大谷 英紀 (広島)

副審 御手洗 亮 (大分)

18	—	17
23	—	19
18	—	15
10	—	17
—	—	—

No. 19G-2 日時: 2014年10月19日(日) 11:55

会場: 三菱重工総合体育館



京都

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 長倉 脩 (C)	16	0	5	6	1	11	3
5	井林 宥輔	2	0	1	0	0	4	0
6	川地 昌吾	2	0	1	0	0	2	0
7	竹原 太一	0	0	0	0	0	0	0
8	木村 励	6	0	2	2	4	1	0
9	* 木村 理	6	0	3	0	2	7	1
10	* 井関 慎平	7	1	1	2	3	0	2
11	* 塩谷 亨	11	2	2	1	2	7	2
12	佐藤 将斗	7	1	2	0	0	9	1
13	石川 琢巳	0	0	0	0	0	0	0
14	* 加藤 寛樹	10	0	3	4	0	2	2
15	荒谷 優斗	2	0	1	0	1	3	2
コーチ	西田 和史					0		
合計		69	4	21	15	13	46	13

北海道

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 森川 尚洋	7	1	2	0	1	3	2
5	木田 一誠 (C)	2	0	1	0	3	9	5
6	* 松野 真也	0	0	0	0	2	2	1
7	向 淳希	17	4	2	1	0	3	0
8	佐賀 彰	0	0	0	0	1	0	0
9	田原 隆徳	0	0	0	0	0	0	0
10	* 中村 正也	5	1	1	0	4	1	0
11	金丸 英悟	10	0	4	2	4	8	2
12	* 山戸 宥吾	6	0	3	0	1	2	0
13	水戸 康人	17	2	5	1	2	2	6
14	亀谷 忠明	4	0	2	0	1	2	1
15	* 志水 一希	0	0	0	0	1	0	1
コーチ	源藤 均					0		
合計		68	8	20	4	20	32	18

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

2回戦、京都府対北海道の試合。1Q、立ち上がりは両チームマンツーマンディフェンス。京都府#4のゴール下と#10の3Pシュートで上々のすべり出しに対し、北海道はファウルがかさみリズムをつかめない。何とかしたい北海道は#12の速攻や#10、#13の3Pシュートで食らいつき、京都府18対17北海道で1Q終了。2Q北海道#14のレイアップシュートや#7の3Pシュートで逆転し波に乗る。流れを渡したくない京都府は#4のフリースローや#11のレイアップシュートで応戦するが、北海道の#11の速攻が決まったところで京都府タイムアウト。京都府はゾーンディフェンスに切り替え堅実なリバウンドやスティールから#11の3Pシュートで同点とする。北海道はゾーンディフェンスを攻めあぐね京都府に逆転を許し、京都府41対36北海道で前半終了。

後半3Q両チームともマンツーマンディフェンス。リズムをつかんだのは京都府。#9のミドルシュートや#11の3Pシュートで突き離しにかかる。打開したい北海道は#4の2Pシュートや速攻で対抗するが、9点差を付けられたところでタイムアウトを請求。何とかしたい北海道は#11や#13のシュートと#7のフリースローで粘り、京都府59対51北海道3Q終了。4Q、京都府#14が速攻を決めて先手を取るが、北海道の#4の3Pシュートや#11の速攻が決まり、じりじりと点差が縮まる。京都府#15の強引なブロックショットがアンスポーツマンライクファウルを取られ、北海道#13が落ち着いてフリースローを決める。また、#7のシュートが決まり、一気に2点差まで詰め寄る。リズムに乗った北海道はオフェンスリバウンドを取り#13が3Pシュートを決め逆転する。流れを渡したくない京都府は#9のタップシュートや#4のドライブインで再逆転に成功する。最後、プザービーターを狙った北海道#11が3Pを狙うが無情にもリングに嫌われ、京都府69対68北海道の1点差で京都府が勝利をものに。敗れはしたものの接戦を演じた北海道にも会場から大きな拍手が送られた。

記事者 竹下 徹 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

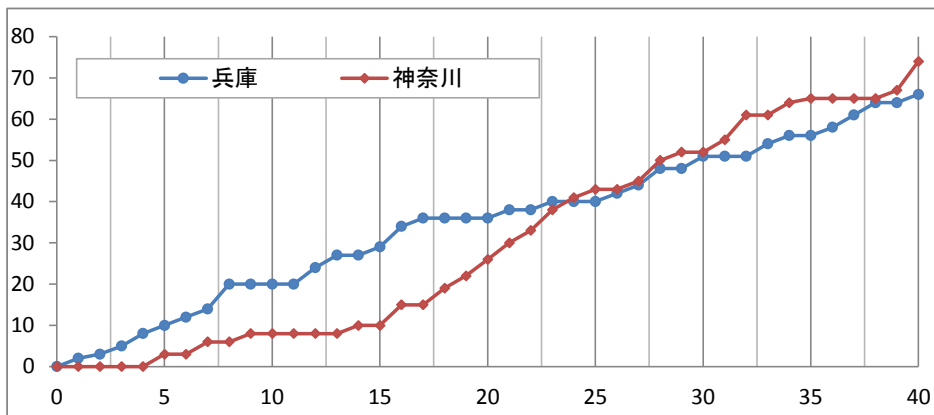
第69回国民体育大会 バスケットボール競技 競技記録

成年男子準々決勝
主審 白川 一樹(香川)
副審 加川 真(宮城)

兵庫 66 ● 74 ○ 神奈川

20 - 8
16 - 18
15 - 26
15 - 22
-

No. 19G-3 日時: 2014年10月19日(日) 13:50 会場: 三菱重工総合体育館



兵庫

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	長谷坂 健祐 (C)	0	0	0	0	2	4	1
5	* 黒川 拓馬	4	0	2	0	1	3	1
6	大山 拓也	9	1	3	0	1	2	0
7	香川 弘樹	14	2	4	0	2	4	0
8	熊谷 尚之	-	-	-	-	-	-	-
9	* 後藤 潤	16	0	5	6	0	5	1
10	野園 ダアト	2	0	0	2	2	5	0
11	* 渡邊 翔太	13	2	3	1	1	1	2
12	* 藤田 雅弥	2	0	1	0	1	3	1
13	森下 颯	0	0	0	0	1	1	0
14	村岸 龍	6	0	2	2	2	6	1
15	* 高松 英二	0	0	0	0	1	1	1
コーチ	吉本 為理					0		
合計		66	5	20	11	14	35	8

神奈川

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 坂口 貴 (C)	5	0	2	1	1	10	0
5	梅林 聡貴	5	1	1	0	1	3	1
6	* 成瀬 新司	21	3	4	4	4	7	2
7	傳田 知也	0	0	0	0	1	0	1
8	* 吉田 司	10	2	1	2	0	0	5
9	増川 翔太郎	6	0	3	0	0	6	2
10	岩田 涼太	2	0	1	0	0	3	0
11	* 木村 勇太	10	2	2	0	2	8	3
12	松本 裕	0	0	0	0	2	0	4
13	福田 洋介	6	2	0	0	1	0	0
14	* 本郷 友敬	9	3	0	0	1	2	0
15	森田 洋介	0	0	0	0	2	0	0
コーチ	小山 泰介					0		
合計		74	13	14	7	15	39	18

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

2回戦、兵庫対神奈川の準決勝進出をかけた戦い。両チームともにマンツーマンディフェンスで試合開始。先に主導権を握ったのは兵庫。#9、#11のドライブインなどで、得点を重ねていく。1回戦シードの神奈川は初戦の堅さがみられ、なかなかシュートが決まらない。対する兵庫は、#9の2P、#7の3Pシュートなどで加点し、20-8とリードを広げ、1Q終了。2Q、神奈川は、#4のドライブインなどで必死に反撃を試みるが、兵庫の堅い守りがそれを阻む。一方兵庫側は、#7のドライブインなどで着実に得点を積み重ねていく。残り4分、神奈川は34-15とリードを広げられたところで、たまたまディフェンスを2-3ゾーンにする。ここからようやく神奈川の攻撃にリズムが生まれ始める。#8、#14の3Pが決まり、36-26と点差を詰め、前半を終了した。

3Qの立ち上がり、神奈川は、#6の積極的なドライブインを契機に、一気にたたみかける。#11の3P、#8のミドルシュート、#6の3Pシュートなどが次々と決まり、残り6分、ついに41-40と逆転に成功する。神奈川のゾーンディフェンスを攻めあげ、逆転を許した兵庫であったが、#14のミドルシュートや#6のドライブインなどで攻撃を組み立てなおし、必死に食い下がる。ここからは一進一退の攻防が続く。52-51の神奈川1点リードで3Q終了。勝負のかかった4Q、勢いに乗る神奈川は、#6、#13、#5の3連続3Pで、開始2分で51-61とし、一気にリードを10点差に広げ、試合の主導権を握る。一方、兵庫は残り7分、ディフェンスをマッチアップゾーンにし、#9のドライブインなどを起点に反撃に出る。#11の3P、#6のドライブインなどで残り1分、66-67の1点差に詰め寄るが追撃もここまで。熱戦に終止符を打ったのは神奈川。#11が3Pを沈め66-70とすると、兵庫のファウルゲームに対しても落ち着いてフリースローを決め、66-74で逃げ切りを果たした。神奈川の底力が際立ったゲームとなったが、果敢に戦った兵庫の粘りも称えたい。

記記者 石井 剛 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

成年男子準々決勝

福岡 69 51 山口

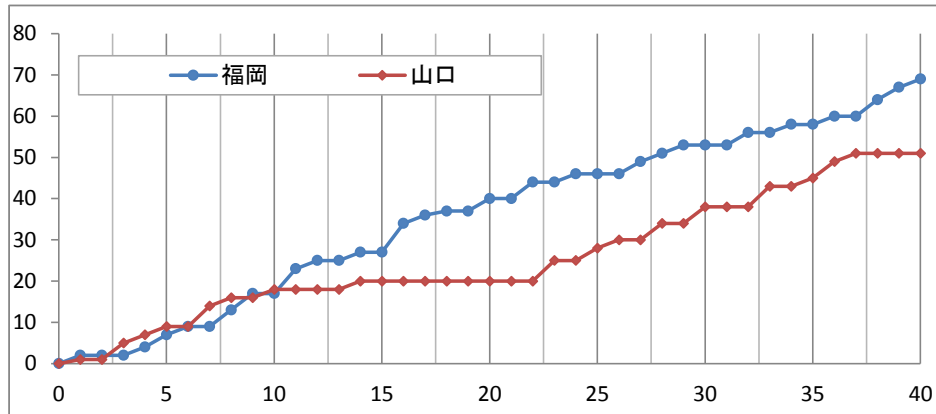
主審 甲斐 清 (鳥取)

副審 堀内 純 (愛媛)

17	—	18
23	—	2
13	—	18
16	—	13
—	—	—

No. 19G-4 日時: 2014年10月19日(日) 15:45

会場: 三菱重工総合体育館



福岡

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	古野 拓巳	7	1	1	2	1	3	2
5	* 田中 喜陽	5	0	2	1	4	6	1
6	* 織田 秀司	17	0	8	1	2	8	3
7	* 吉満 俊孝 (C)	7	1	2	0	1	4	1
8	中深迫 諒太	3	0	1	1	1	1	1
9	赤星 雄平	3	1	0	0	1	4	3
10	* 松谷 直人	0	0	0	0	0	3	0
11	三友 康平	9	3	0	0	2	2	1
12	柚木 毅	-	-	-	-	-	-	-
13	村瀬 敦希	10	2	1	2	2	2	0
14	* 毛利 孝志	8	0	4	0	2	3	4
15	熊谷 駿	-	-	-	-	-	-	-
コーチ	山口 健太郎	-	-	-	-	0	-	-
合計		69	8	19	7	16	36	16

山口

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	隅廣 敬太郎 (C)	2	0	0	2	0	1	0
5	高橋 悠	0	0	0	0	0	2	0
6	西山 拓海	-	-	-	-	-	-	-
7	* 島袋 脩	19	2	6	1	0	6	0
8	入江 陽介	4	0	2	0	2	3	0
9	椎木 佑貴	2	0	1	0	0	3	0
10	* 上田 雅也	5	1	1	0	3	1	2
11	清水 翔平	2	0	1	0	2	0	1
12	* 宗野 克洋	4	0	2	0	4	2	1
13	宮儀 翔平	1	0	0	1	1	1	0
14	* 北本 久展	5	0	2	1	2	3	1
15	* 松元 一総	7	1	2	0	1	5	2
コーチ	枝折 健吾	-	-	-	-	0	-	-
合計		51	4	17	5	15	27	7

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

準々決勝、福岡県対山口県の戦い。お互いマンツーマンディフェンスでスタート。福岡は#5を起点に得点を重ねる。山口は#7、#12、#15を中心に確率のよい外角シュートで応戦。第1Qを17対18で終える。第2Qは福岡が激しいディフェンスと#11のゲームメイクから組み立てられるリズムのよいオフェンスにより、次第に主導権を握り始める。山口は終盤にハーフコートゾーンに切り替えるも福岡の粘り強いオフェンスリバウンドと外角シュートにより第2Qは40対20で終了。

第3Qも福岡の激しいディフェンスに対し、山口は得点を挙げる事ができない。中盤、山口#7が内外からシュートを決めるも、福岡#11のセットプレーからの3Pシュートで51対30と山口を大きく突き離す。その後、山口は#7を中心に息を吹き返すも第3Q終わって53対38。第4Qはお互い一進一退の攻防が続く。残り5分に、福岡のアンスポーツマンライクファウルにより、山口#4がフリースローを確実に決める。そこから#14のゴール下の得点により、残り3分で山口は点差を11点まで縮める。福岡のタイムアウト後、山口はオールコートマンツーマンディフェンスで流れを引き寄せるが、福岡#6の連続得点により、残り2分で13点差。山口のタイムアウト後も福岡#6のカットインプレーによる得点で最終的には69対51で終了。

山口のディフェンスやアウトサイドシュートも素晴らしかったが、それを上回る福岡の激しいディフェンスと粘り強いリバウンド、落ち着いたゲームコントロールが勝敗を分けた試合だった。

記載者 高田裕己 (所属) 長崎県バスケットボール協会